

政策調整会議の概要

開催日 令和6年11月28日(木)

◎項目

- 1 スマートオフィス化による執務環境改善に係る実施所属の募集について
- 2 ハラスメントに関するアンケート集計結果について
- 3 令和6年10月の時間外勤務の状況について

◎内容

1 スマートオフィス化による執務環境改善に係る実施所属の募集について【総務部】

○総務部副部長

県では、職員の効率的な業務遂行や生産性の向上、創造性の発揮を目的として、県庁ワークスタイル変革プロジェクトを推進することとし、令和4年度からスマートオフィス環境の整備を進めている。

モデル職場として商工労働部3課に導入したところ、職場環境の改善により、コミュニケーションの活性化や意思決定の迅速化などの効果が現れている。今年度は危機管理部が整備を進めており、産業振興推進部2課と水産振興部4課が令和7年度のスマートオフィス化に向けてレイアウト設計等の取組を進めている。

今後は、取組のさらなる推進として、スマートオフィス化を順次拡大していく計画であり、令和8年度に執務環境の改善を希望する所属を募集しているので、積極的に応募をしていただきたい。

また、効率的なスマートオフィス環境の整備や全庁で統一感のあるオフィス空間を設計するため、職員の意見を聞きながら全庁的な基本方針を策定することとしている。スマートオフィス化に取り組むにあたって参考になるeラーニングの受講とアンケート調査への回答をお願いしているので、周知していただきたい。

2 ハラスメントに関するアンケート集計結果について【総務部】

○行政管理課長

本年9月2日から10月4日にかけて、知事部局で勤務する会計年度任用職員を含む全職員を対象にハラスメントに関するアンケートを実施した。

アンケートの回答者は3,566人で、全体の85.6%が回答した。

集計結果について、ハラスメントの認知度はセクハラ、パワハラ、マタハラ等のいずれについても、ほぼ全ての職員が認知している状況。

セクハラについて、各態様ごとに「自分がされたことがある」、「相談を受けたことがある」、「自分がしたことがある」等について集計した結果、「自分がされたことがある」の回答数に比べて「自分がしたことがある」の回答数が少なく、乖離が見られた。自分の行動がセクハラに当たる、又はセクハラと受け取られる可能性があるということに注意する必要がある。

されたことがある態様のうち、最も多かったのは「まだ結婚しないなどの発言」

であり、職員の人事ヒアリング等で確認する必要がある場合は、聞き方に注意する必要がある。

また、過去には、宴席の場でセクハラが発生した事例もあり、年末年始で宴席の機会も増えると思われるので十分注意していただきたい。

パワハラについても、「自分がされたことがある」の回答数に比べて「自分がしたことがある」の回答数が少なく、乖離が見られた。受け手の受け止めと行為者の思いが異なっている可能性があるので留意していただきたい。

また、「自分がされたことがある」のうち、最も多かった回答は「仕事上のミスを指導する際の暴言」であり、指導の際には、受け手の受け止め方に乖離があることや、相手方の納得度を高めるよう、留意していただきたい。

マタハラ等については、「されたことがある」、「したことがある」両方で件数が少なかったが、若手職員が増加し、男性職員の育休取得も増加しているので、引き続き留意していただきたい。

庁内、庁外に設置しているハラスメント対策の相談窓口については、職員の2割が把握していないという回答であった。今回のアンケート結果と併せて相談窓口についても通知するので、全職員に回覧していただきたい。

また、ハラスメントが起きる要因として、指摘しづらい空気、コミュニケーション不足を挙げている職員が多いことから、不適切な言動を日頃から相互に指摘し合える風通しのよい職場づくりの推進に努めていただきたい。

さらに、人権問題職場研修等の場でハラスメント対策ガイドブックを活用するなど、機会を捉えてハラスメント対策に関する理解と促進に努めていただきたい。

また、現在、県庁における状況を把握するためにカスハラに関するアンケート調査を実施しているので、積極的に回答をしていただきたい。

3 令和6年10月の時間外勤務の状況について【総務部】

○行政管理課長

令和6年10月の時間外勤務について、総計は2.7%増であり、この内、本庁は4.6%増、出先は4.6%減であった。予算編成作業における元気な未来創造枠に関する業務や事業のバージョンアップなどの検討作業が増加の要因と考えられる。

4月から10月の累計は、総計3.1%減、本庁は3.4%減、出先は3.7%減であった。総計では減となっているが、今年度は8月以降、前年比で時間外勤務が増加傾向となっている。

来週から12月議会が始まり、議会対応で時間外勤務も増加すると思われる。各所属幹部は職員の心身の健康管理のためにも、時間外勤務やパソコン利用履歴の確認をしていただくとともに、勤務間インターバルも活用しながら職員への声掛けを行っていただきたい。